

市議会だより

東松島市

第45号

平成29年8月1日発行



とっておきの音楽祭
(宮戸島太鼓)

- 補正予算 火葬場整備事業費を計上…………… P2
- 会派代表質問～4会派代表が市長に質問…………… P4
- 一般質問～13人が市政をただす…………… P7
- 民生教育常任委員会、広報常任委員会活動方針… P15



議会映像配信サイト
QRコード



ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/gikai>
E-mail h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp
議会映像配信ページ <http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp>

発行／宮城県東松島市議会
編集／議会広報常任委員会



▲新火葬場完成予想図

火葬場整備事業費を計上

補正総額21億9348万4千円

平成29年第2回定例会において、一般会計ほか2会計の補正予算を慎重審議の上、可決しました。各種会計の事業内容は、次のとおりです。

一般会計

浜市小学校災害復旧事業に伴う造成事業費及び火葬場整備事業費の計上
が主なもので、既定の予算総額に21億8千487万5千円を追加し総額を453億220万円に編成。

歳入の主なものは、震災復興特別交付金1億6千357万円を増額、土地売却収入3億2千316万8千円を計上。震災復興交付金事業基金繰入金4億7千290万円、財政調整基金繰入金5億3千733万4千円を増額、市債では火葬場整備事業債3億5千200万円、道路橋梁施設整備事業債4千560万円を計上している。

歳出の主なものは総務

国民健康保険特別会計

費では「心の復興」事業補助金に600万円を計上。衛生費では火葬場新築工事費と火葬炉設備工事費に3億7千59万円、健康増進センターの改修工事費等に4千703万円を計上。農林水産業費では漁港施設機能強化工事費に2億4千277万3千円、商工費には地域復興商品券発行補助金1千万円、土木費では新火葬場への接続道路改良舗装工事費などに1億5千774万2千円、鷹の巣山線避難道路整備工事費に8千307万7千円、野蒜北部丘陵地区小規模コミュニティ施設整備工事費に3千847万9千円を計上。教育費には安全な学校生活を確保するため赤井・大塩小学校及び矢本第二中学校に設置

する監視カメラ設置工事費1千300万円を計上している。

介護保険特別会計

既定の予算総額に629万3千円を追加し、予算総額を52億9千234万9千円に編成。

歳入は特別交付金や国保業務準備事業費補助金を計上。

歳出は国保システム改修に伴う業務委託料等503万3千円を計上している。

一般会計

既定の予算総額に231万6千円を追加し、予算総額を29億9千252万4千円に編成。

歳入では国庫・県支出

6月補正予算の状況

(単位：千円)

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	21億8,487万5	453億0,220万0
国民健康保険特別会計	629万3	52億9,234万9
介護保険特別会計	231万6	29億9,252万4
合計	21億9,348万4	535億8,707万3

金や基金交付金、繰入金を計上。
歳出では地域包括ケアシステムの構築に向けて地域支援事業費を計上している。

議案

可決

その他

第2回定例会

- ・人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ・人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ・東松島市中心身障害者医療費の助成に関する条例及び東松島市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
- ・（債）平成27年度野蒜排水区（雨水排水）下水道管渠工事請負変更契約（第3回変更契約）の締結について
- ・（債）平成27年度野蒜排水区（雨水排水）下水道管渠工事請負変更契約（第3回変更契約）の締結について
- ・（債）平成27年度五味倉排水区（雨水排水）下水道管渠工事請負変更契約（第3回変更契約）の締結について

- ・下水道管渠工事（その1）請負変更契約（第3回変更契約）の締結について
- ・平成28年度野蒜処理分区（流開公下）下水道管渠工事請負変更契約（第3回変更契約）の締結について
- ・平成28年度大曲浜地区被災市街地復興土地区画整理事業造成工事請負変更契約（第2回変更契約）の締結について
- ・字の区域を変更することについて
- ・市道路線（新宮前線）の認定について
- ・市道路線（川前三190号線外1）の認定について
- ・市道路線（川前三1号線外5）の廃止について
- ・財産の取得（野蒜北部丘陵地区第1期災害公営住宅整備事業に関する建物等）について
- ・東松島市営住宅条例の一部を改正する条例について

臨時会

第2回臨時会

5月1日開会

全議案可決

- 専決処分した事件（東松島市市税条例の一部を改正する条例）の承認について
- 専決処分した事件（東松島市国民健康保険条例の一部を改正する条例）の承認について
- 専決処分した事件（東松島市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）の承認について
- 専決処分した事件（平成29年度東松島市一般会計補正予算（第1号））の承認について

第3回臨時会

5月10日開会

全議案可決

- 教育委員会委員の選任につき同意を求めらるる（2件）について（2件）
- 委員名（行政区）
 - 木村和彦（新川前）
 - 鹿野あい子（新道）
- 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めらるる（3件）について（3件）
- 委員名（行政区）
 - 鈴木憲一（下小松）
 - 氏家源（往還上）
 - 川元紀一郎（南六）
- 監査委員の選任につき同意を求めらるることについて（2件）
- 委員名（行政区）
 - 土井一朗（筒場）
 - 佐藤富夫（貝殻塚一）
- 平成28年度矢本消防署鳴瀬出張所新築工事（建築工事）（繰越）請負契約の締結について
- 訴えの提起について
- 平成28年第153号損害賠償請求控訴事件（野蒜小津波訴訟） 上告について
- 平成29年度東松島市一般会計補正予算（第2号）について

賛否が分かれた議案

第2回臨時会および第2回定例会において市長から提案された議案については、本会議で慎重審議し、全議案を全会一致で可決したため、賛否の分かれた議案はありませんでした。
第3回臨時会については、下記の表のとおりです。

議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

<http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp/>

第3回臨時会において賛否が分かれた議案の採決結果

		議決結果	石森 晃寿	上田 勉	手代木せつ子	齋藤 徹	土井 光正	熱海 重徳	小野 幸男	小野 恵章	阿部としゑ	古川 泰広	五ノ井惣一郎	大橋 博之	櫻井 政文	佐藤 富夫	長谷川 博	熊谷 昌崇	滝 健一
議案	訴えの提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
	平成29年度東松島市一般会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

○…賛成、×…反対 ※阿部勝徳議長は採決に加わりません。

会派代表 Q & A

第2回定例会において市長の市政方針の所信表明があったため、市長に対し、会派の代表議員が会派を代表して質問を行いました。

会派代表質問 通告一覧

第1位 市民クラブ 代表 佐藤 富夫
 新市長の所信を問う

第2位 清風・公明 代表 五ノ井惣一郎
 1. 市長のマニフェストについて問う
 2. 29年度予算執行について問う
 3. 市政執行についての所信を問う

第3位 清新会 代表 滝 健一
 新市長の重要継承事項および独自の
 推進手法、新たな方策案について

第4位 復興クラブ 代表 上田 勉
 選挙公約と初年度復興の加速と地域
 づくりに向けての優先順位を問う

○●議会を傍聴してみませんか●○

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されます。市民の皆さんに深く関わりのある議案が審議されます。また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議を生中継や録画映像で視聴できます。（QRコードを表紙に掲載しています）

※録画映像は、生中継終了後5日程度（土・日・祝日その他閉庁日を除く）でご覧になれます。



議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

<http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp/>

9月定例会日程(予定)のお知らせ

- 9月 7日(木) 本会議
- 9月11日(月) 本会議(一般質問)
- 9月12日(火) 本会議(一般質問)
- 9月13日(水) 本会議(一般質問)
- 9月14日(木) 本会議(一般質問)
- 9月15日(金) 本会議(総括質疑)
- 9月26日(火) 本会議
- 9月29日(金) 本会議

※変更の場合がありますので、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。



市民クラブ会派代表
佐藤 富夫 議員

新市長の目玉政策は何か

Q 市長は阿部市政の継承を掲げ当選した。しかし、それだけではコピーに過ぎない。有権者は、渥美市政に何かを期待して投票をした。

阿部市政の違いと目指す市政の目玉を示せ。

A 復興庁が廃止される平成32年度までに復興完結をし、宮城県復興モデル市を目指す。

国、県など太いパイプと人脈がある。それをフルに生かし、財政支援による予算確保、企業誘致による雇用対策など、市民ファーストで取り組む。

県議会議員から市政への挑戦

ふるさと東松島市の復興・発展に全力で頑張ります！

矢本町職員、県議会議員(22年)で培ってきた行政・政治経験と豊かな人脈を活かし、復興のモデル市を目指します。

あつみ いわお 7 マニフェスト

国・県とのパイプを活かして実現

- 1 平成32年度末に復興庁が廃止されますので、今後の4年間が大変大事な年となります。東松島市の復興まちづくり計画に合わせた予算確保で復興を加速で完結すると共に、心の復興と地域コミュニティ再生にも努めます。
- 1 企業誘致による働く場所の創造で、人口減少対策、雇用対策を推進すると共に、商工・観光(奥松島)振興、ならびに若人が集うまちづくりの実現に努めます。
- 1 東松島市の基幹産業である農業・漁業の振興・再生をはかり、6次産業化による農村漁村の活性に努めます。
- 1 幼児教育無償化を国に訴えると共に、子育て支援策を拡充し、女性がいきいきと活躍できる東松島市の実現に努めます。
- 1 高齢化社会の到来に備え、福祉の充実、パークゴルフ場の設置による健康保持増進、医療体制の確保に努めます。
- 1 人材育成、国際化への対応、学力向上、文化・スポーツの振興と青少年の健全育成に努めます。特に少子化の中で頑張っているスポーツ・文化少年団への支援拡充を計ります。
- 1 松島基地との共存共栄を基本に、石巻工業港、JR仙石線8駅及び三陸道3インター・矢本パークینگ、松島自然の家等、国・県の施設を活用した地域振興に努めます。

▲公約は守るべきにあり

Q 市長マニフェスト観光政策と国際化に関する対応を問う。

デンマーク、インドネシアなど国内外の交流が活発化している。

観光客も中国、韓国、アジア系の人達も増えつつある。

外国語パンフは有るものの、説明する人材は皆無。画竜点睛を欠くものである。

国際化を標榜するにふさわしい人材を育成せよ。

A 観光、国際交流事業は政策の大きな柱である。

議員の提言を受け止め、人材育成に取り組んで行く。

国・県との太いパイプを活かす

決断と実行

- 子ども達に夢と希望
- 若人が集うまちづくり
- 地域経済の活性化
- 市民ファースト
- 市民参加のまちづくり
- 震災復興加速



清風・公明代表
五ノ井惣一郎 議員

市長のマニフェストに伺う

Q 市長に立候補するにあたり「7つのマニフェスト」を公約した。①震災復興加速と心の復興②企業誘致による働く場所の創造と若人が集うまちづくり③農業、漁業の振興と6次産業化④幼児教育無償化と子育て支援策の拡充等⑤高齢化社会の到来に備えた福祉の充実、医療体制の確保⑥人材育成、スポーツ振興⑦松島基地等、国、県の施設を活用した地域振興。

A ①復興予算の確保を図り、復興の加速と完結を目指し、再生支援事業補助金を活用「心の復興」を促進する



▲企業誘致による働く場所の創設



▲共存共栄を基本に地域振興に努める

②誘致活動の体制強化と県との協力・協調体制の強化を図り、確実に財源確保と地方創生の財政支援策を活用し取り組む③農業生産基盤の整備や6次産業を進める④民間活力を導入した保育園の開所支援を行い、放課後児

童クラブを順次整備する⑤医療、介護、介護予防、生活支援、健康保持増進にパークゴルフ場を整備する⑥体育協会、スポーツ少年団等を支援する⑦共存共栄を基本として、地域振興を図る。



清新会 代表

滝 健一 議員

市政執行の 所信の推進手法

Q ①被災者が安心して暮らせる心の復興②移転者の新生活とコミュニティ形成③家庭環境の大きな変化による児童生徒の震災の後遺症対策④国の財政支援制度を活用した地方創生について⑤健康寿命の延伸について⑥継続的に行うとしている検診の受診率の向上対策⑦市民の知識や経験を生かしていく仕組み

A ①安定した生活が大切で関係機関と連携しサポートする②県と協力し復興まちづくり推進員を置き各種の支援を継続する③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学

校専門相談員を配置し、心のケアに努める④産業振興やコミュニティビジネスの推進、子育て支援体制の強化、コミュニティスクールの取組みによる教育充実のまちづくりを展開し、移住定住の促進、雇用の創出で地方

創生を進める⑤健康寿命の延伸に繋がる日頃の活動定着を図るとともに健康増進センターの充足にも取り組む⑥受診機会の拡大、託児サービス検診を新設⑦地域自治組織と連携し、更なる仕組みを検討する。

創生を進める⑤健康寿命の延伸に繋がる日頃の活動定着を図るとともに健康増進センターの充足にも取り組む⑥受診機会の拡大、託児サービス検診を新設⑦地域自治組織と連携し、更なる仕組みを検討する。



▲会派を代表して質問した

復興クラブ代表

上田 勉 議員

公約と地域づくり の優先順位を問う

Q ①地域振興と企業誘致について②介護予防と各自治会の取組事業の支援について③子育て支援について④日体大との協定について⑤移転地での生活環境整備について⑥松島基地との共存共栄について

A 7つの公約を優先実施する。

①産業振興施策の推進は最重要課題であり、すでに県東京事務所に職員を配置した。働く場所の創造と就業環境整備に努める。

②住民参加の仕組みが重要であり、社協・地域が



支えあうモデル地区の整備を進める。
③保育所待機児童対策及び放課後児童健全育成事業を優先整備する。
④市のイベントや教室などへの講師派遣など交流・連携を密にし、大学へは自ら訪問する。
⑤あおい地区北側水路の安全対策を優先実施し、

市道の避難道路としての整備も検討する。
⑥東北防衛局等と調整しパークゴルフ場クラブハウスの建設及び駐車場整備を行う。
矢本駅前道路の整備も、基地の協力を得て整備する。
退職自衛官を危機管理担当者として採用する。



▲矢本駅前道路は航空祭・避難道路に欠かせない



熊谷 昌崇 議員

- 1、復興住宅について
- 2、市税の納付方法について
- 3、某国のミサイル攻撃があった場合の避難方法は

Q 数年前に市に対して、市税の納付方法をクレジットカード決済やコンビニ納付を導入すべきではないかと質問し、その時は内部で検討しているとの答えだったが、一向に進展が見受けられない。石巻市や女川町では、軽自動車税の納付はコンビニ納付が出来る。昼間、仕事で銀行等に行

A 市税の納付方法において、コンビニ納付は、導入した場合、市民にとって利便性の高い納付方法である

Q 市税の納付方法について

A 市税の納付方法は、数年前に市に対して、市税の納付方法をクレジットカード決済やコンビニ納付を導入すべきではないかと質問し、その時は内部で検討しているとの答えだったが、一向に進展が見受けられない。石巻市や女川町では、軽自動車税の納付はコンビニ納付が出来る。昼間、仕事で銀行等に行



▲軽自動車税の納付書について

一般質問

知りたいこと のぞむこと

13人の議員が発言 質問内容

市税の納付方法について
熊谷 昌崇 P7

浜市漁港堆砂問題の抜本的解決を
古川 泰広 P8

小規模多機能自治について
大橋 博之 P8

子育て支援について
熱海 重徳 P9

老朽化した地区センターを整備せよ
齋藤 徹 P9

JR 矢本駅、駅北側通路は
小野 恵章 P10

保育所の入所について
阿部 としゑ P10

心の復興の取組みを充実させよ
土井 光正 P11

新鳴瀬未来中学校の通学方法
石森 晃寿 P11

高齢者ドライバーについて問う
手代木 せつ子 P12

避難計画、絵に描いたモチではダメ
長谷川 博 P12

観光振興と企業誘致を問う
櫻井 政文 P13

継承事業と産業振興について
小野 幸男 P13



大橋 博之 議員

1、小規模多機能自治について

Q 阿部秀保前市長が強気に推進してきた協働のまちづくりの集大成として本年4月よりスタートした自治会制度が順調に機能していくためにも今後小規模多機能自治―総動の考え方を学ぶべきである。①小規模多機能自治ネットワークについて②8つの市民センターとの整合性につ

A 市長 ①メンバーとして全国的な動きで国へ政策提言を行っていく②地区自治会への支援事業の強化を図り市

民センター機能の充実を目指していく③本年度4月から部課長職の職員を地域担当員として配置し職員も地区住民として積極的にならざるに開く意識を育てていく④財源確保のためのメニューを地域で選択する手法⑤課題解決のため市民協働のまちづくりを評価し継続する。



▲小規模多機能自治ネットワークに加盟



▲堆砂により使用不能となっている浜市漁港



古川 泰広 議員

- 1、浜市漁港の堆砂問題について
- 2、通学路の指定とその安全対策について

Q 市長はマニフェストの中で、「漁業の振興・再生」を掲げているが、漁業関係の課題の一つである浜市漁港の問題解決の為にどのように取り組む所存なのか以下同う①抜本的解決策へのプロセスについて②ヘッドランド設置による堆砂により河口部への堆砂の誘導について③浚渫

A 市長 ①砂州の回復を目指し、河川管理者と検討を重ねている。平成23年以降市が1回、県が3回、国土交通省が3回浚渫作業を行っている。今年度漁港内にある堆

砂の全量を河口部に移動する工事を行うこととし、予算計上をしている②河川管理者からは治水上認できない旨の回答があり、本年度漁港内の砂を元の砂州に戻す工事を行う③費用の面から困難④使用が可能となったが使用のあり方について国土交通省と調整している。

Q 浜市漁港堆砂問題の抜本的解決を
A 砂州の回復を目指し検討している



齋藤 徹 議員

1、老朽化した各地区センターを整備せよ

の老朽化の現状は認識している。

A

①赤井上区 ②人口減の自治会の将来の統合、地区センターの統合の可能性と地域コミュニティ維持等の今後の展望について問う。

市長

下区地区センター

再編計画も視野に入れ検討する。

人口・世帯数あたりの施設数が多い。

人口動向と整合を図り、

Q

市長見解を問う。

①地区センターの老朽化に対する

Q

老朽化した地区センターを整備せよ

計画的に対策を講じていく

適切な点検診断の結果に基づき、計画的に対策を講じていく必要性を認識している。

②本市の地区コミュニティ施設の保有状況は、

他の自治体と比較すると、

人口・世帯数あたりの施設数が多い。

人口動向と整合を図り、

再編計画も視野に入れ検討する。

その際は、地区自治会

運営の支障にならないことを優先し、地元意向を踏まえた上で、合意形成を図りたいと考えている。



▲老朽化していく地区センター



▲あおい地区北内の緑地



熱海 重徳 議員

1、子育て支援について

子育て支援について

環境の充実を図る

Q

①矢本海浜緑地の代替、既存公園の改善策について。

②あおい北地区に建設予定の子育て支援センターの規模・運営について。

③建設計画中の放課後児童保育の運営について。

④産婦人科や小児科などの医療機関の誘致活動、

また、それに伴う土地利用計画の見直しは。

A

市長 ①面積は約5ヘクタール減少となるが「じゃぶじゃぶ広場」やバーベキュー施設などは整備される予定。

また、あおい地区北の緑地の活用を検討する。

②子育て相談室や遊戯室、児童の学習としても利用できる図書室、保育所機能としての一時預り、病後児預かりなどを計画し

ている。

③入所者希望数を精査しながら規模を検討し、拡大する場合には、増員配置や加配対応で待機児童がないよう整備を図る。

④全国的に産婦人科、小児科等の医師不足が社会的問題となっていることから厳しい状況ではあるが、鋭意努力していく。



阿部としゑ 議員

- 1、保育所の入所について
- 2、市職員の各自治会の行事への参加について問う

Q 近年共働きの増加、子どもを産み育てることが大変である。安心して働くため、保育所への入所は必要不可欠。各保育所の定員数等はあるが希望した保育所に入所できない。兄弟別々の保育所だったりときまじまの不満を耳にした。4月開所予定の私立認可保育所ができれば、あ

A 程度の問題は解決できるものと思っていたが、開所されない。入所状況と待機児童について。今後の私立認可保育所について。市は今後どのような子育てしやすい環境づくりにつとめるのか。
市長 定員総数706人に対し695人が入所。他市町への入所は9人。待機児童は

33人。自宅や職場から近い所に集中して、106人が第一希望に入所できなかった。兄弟で別々の入所は3世帯。私立認可保育所は18年4月に定員72人規模の施設が開所予定。子ども子育て支援計画の見直しや保育施設の確保が必要不可欠で待機児童を解消する。



▲楽しそうに通所することも

Q 保育所の入所について

A 保育施設を確保し待機児童解消



▲ J R 矢本駅周辺



小野 恵章 議員

- 1、 J R 矢本駅および周辺施設等の今後について

Q J R 矢本駅、駅北側通路は

A 先進事例等で政策判断

Q ① J R 矢本駅改修、ゆぶとの一体整備における駅北側連絡通路について。
② 北浦アパートは。
③ 上町学習等供用施設のエレベーター設置、旧矢本歯科の取り壊し後は。
④ 北区官舎跡地を、市で借用すべき。
⑤ 航空祭、東松島夏祭の関連環境の在り方は。

A 市長 ① 課題整理 先進事例の検証等出来ることから取り組み結果を政策判断する。
② 用途廃止は検討、跡地利用は市民意向を。
③ 引き続き設置に係る事業費、維持管理費、実施の可否等を継続して調査検討する。歯科跡地は、年度内に駐車場整備する。
④ 市として当該土地の利

活用を検討し判断する。
⑤ 航空祭の来場者用駐車場は、市内小中学校の校庭や、市民センター等の公共施設を利用し、シャトルバスも運行する。東松島市夏まつりも、最大のイベントと位置づけ花火の打ち上げについても、松島基地並びに商工会と連携を図り調整する。



石森 晃寿 議員

1、鳴瀬未来中学校新校舎の供用開始に伴う通学の方法について

Q 鳴瀬未来中学校新校舎の供用開始が、来年一月と聞いています。しかしながら、通学の途中には、鳴瀬川、吉田川の一級河川等があり、旧鳴瀬第一中学校学区の生徒は、危険が多々あることは、教育長も承知のことと思う。その危険を一つずつ取

A 教育長 鳴瀬未来中学校新校舎の通

Q 新鳴瀬未来中学校の通学方法

A スクールバスは、国の基準

り除くには、多大な予算と時間が必要になり、鳴瀬未来中学校新校舎の供用開始には、間に合わないことが思料される。そこで何よりも大事な生徒の命を守り、安心安全な通学方法のためにスクールバスを市で運行してはいいかがか。



▲速度規制・信号機設置が待たれる交差点



土井 光正 議員

- 1、「心の復興」の取り組みを今後も継続し、さらに充実させよ
- 2、障害者福祉タクシー利用助成についてガソリン券助成と併用し選択肢を与えよ
- 3、集団移転団地における安全・安心な環境の整備対策を急げ

Q 心の復興の取り組みを充実させよ

A 長期的・継続的なケアに努める

Q ①「心の復興なくして、東松島の本来の復興はない」との考えでソフト事業の取り組みを継続しさらに充実させよ。

A 市長 被災者の心に寄り添い、見守り続ける支援体制を長期的かつ継続的なケアを行いつつ財源確保も含め努めていく。

八月中に設置する。あおい団地を含めた集団移転団地内の幹線道路の速度規制への対応を関係機関と協議していく。案内板については住宅番号と住所地番の判別がわかるように又、丁目区分も確認出来る内容の案内板の設置を他の移転団地も含めて検討する。



▲通学方法にはスクールバスを



長谷川 博 議員

- 1、女川原発再稼働・避難計画について
- 2、国保の県単位化について

概要版を配布しているが、

Q 27年9月に策定した原発避難計画への見解は。安全協定は見直しすべきである。

A 市長 避難のため退域検査ポイント、ヨウ素剤配布方法など策定時から継続課題と認識。国県と協力して実効性向上に取り組み。全世帯に

概要版を配布しているが、

Q 認知度が低いのが現実、工夫して高める。風向きなどで避難の独自判断が求められる場合も。

A 市長 協定見直しは周辺自治体との協議・連携が必要。国保の県単位化で負担どうなる。

岩手県の被災地では4万円前後の引き上げ試算値を公表した。課税方式の変更等で負

Q 担が急増する場合は負担軽減措置を講ずるべき。

A 市長 税額決定は12月と見込む。被災地で上がることは問題、被災地の声が反映されるべき。試算値・計数を早め



▲全世帯に地区ごとの概要版を配布している



▲身分証明書として用いることができます



手代木せつ子 議員

- 1、高齢者ドライバーについて問う
- 2、高齢者の介護支援ボランティアポイント制度について問う

Q 高齢化が進む本市において、身体機能は衰えても車の運転は通院、買い物、農作業と生活の一部になっていく。次の点について問う。

① 高齢者（65歳以上）ドライバーの人数の把握と健康づくりに対する取り組みは。

② 運転免許証の自主返納者に対する支援策は。

Q 高齢者ドライバーについて問う

A 市長 ①4月末時点で高齢者ドライバーは6106人。高齢者が元気に自立した生活を地域で送れるように、百歳体操等の普及に努めていく。

②4月末時点で高齢者運転免許証自主返納者は、33人。返納者には運転経歴証明書が交付される。免許証返納で問題となる

移動手段の確保など総合的な生活支援策として特典が必要と考えている。具体的には市健康増進センターゆぶとの割引制度の導入やデマンドタクシーの半額、利用券の発行等、本市と同様の環境にある自治体における先進的な取組を参考にしながら前向きに検討する。



小野 幸男 議員

- 1、前市長の継承事業について伺う
- 2、産業振興について伺う

Q ①各センターへの職員の配置は
 ②地域公共交通のデマンドタクシー等の利用者の利便性の改善策について
 ③上下堤・浅井・中下・大塚区に関連した45号線と松島パークラインを直結する道路新設を伺う。
 ④カキの消費拡大とアサリ漁場の復活について。
 ⑤観光振興と奥松島公社

A ⑥副市長二人制と企業誘致の改革について伺う。
 市長 ①協働のまちづくりが基礎で地域の実情に合った地域活動が行われているので配置は考えない。
 ②市民が活用しやすい交通体系を目指し利便性が向上されるよう対応する
 ③迂回ルートとして大動

脈路線に位置づけられるが財源確保も課題で現状では難しいものである。
 ④カキの美味しい食べ方をPRし消費拡大を図る
 今後は波津々浦を整備予定で今後に期待する。
 ⑤公社自ら改善に取り組み市も適切に関与する。
 ⑥条件を整えば導入し、誘致体制を強化する。



▲上下堤から大塚地区への地域活性化道路の新設を強く要望

Q 継承事業と産業振興について
A 経営改革に向け対応していく



▲①6次産業化に取り組む商品をPR
 (②宮城県企業立地セミナー in Tokyo)



櫻井 政文 議員

- 1、観光振興について
- 2、企業誘致について

Q ①インバウンド対応は②観光名所になりうる歴史常設館新設は③市ブランド確立は④6次産業化は
 市長 ①観光情報の発信やWiFiの整備をする。②現状では厳しいが、教育委員会とも話し合っていく。
 ③統一したイメージ形成など図っていく。④補助

A ⑤公社自ら改善に取り組み市も適切に関与する。
 京事務所へ職員を

金交付で事業支援、販路拡大も推進していく。
Q ①トップの熱意人柄が誘致を左右する。強化については②企業誘致担当職員の異動配置の検討は③企業立地推進事業の見直しは④首都圏のふるさと会「在京東松島会」との連携は
 市長 ①宮城県東

Q 観光振興と企業誘致を問う
A 重要施策故、強力に推進する

派遣した。トップセールスの効果は認識している。②2名の職員を担当として配置している。また、誘致企業との連続性の観点から、職員の任期延長も検討する。③企業立地推進員の増員、待遇の改善を検討する。④今後同会とは企業誘致を含めた情報交換を行っていき連携を図っていきたい。



本市議会は、5月31日（水）に行われた全国各地の市町村が参加するスポーツイベントのチャレンジデーに参加しました。

市役所避難施設2階を会場に、市福祉課保健師を講師として、東松島市いきいき百歳体操を実践しました。

東松島市いきいき百歳体操は、手首や足首に10段階に調節できる重りを巻きつけて、DVDの映像とかげ声に合わせて、約40分間ゆっくり行う体操です。

市内の各地区で楽しい仲間づくりに役立つものとして、実施されているものです。

チャレンジデー参加 （いきいき百歳体操）

平成28年度 政務活動費使用状況

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究やその他の活動に対する必要な経費の一部として、1人当たり月額1万円を各会派に交付しています。各会派は、収支報告書に領収書などを添え、議長に提出することが義務付けられています。残額は市に返還し、交付額を超えた支出は議員の負担となります。

なお、平成28年度会派は、議員改選に伴い平成29年3月末をもって解散しています。

(円)

会派名	人数	当初交付額	確定交付額	支出内訳					合計
				調査研究費	研修費	資材費	料費	事務所費	
清新会	7人 (注1)	840,000	820,000	820,000	0	0	0	0	820,000
復興クラブ	5人	600,000	600,000	523,351	0	12,202	0	0	535,553
清風	4人 (注2)	480,000	470,000	430,979	0	0	0	0	430,979
市民クラブ・公明	2人	240,000	240,000	193,660	0	0	15,921	0	209,581
合計	18人	2,160,000	2,130,000	1,967,990	0	12,202	15,921	0	1,996,113

(注1) 清新会の会派人数は、議員辞職にともない、平成29年2月から6人となりました。

(注2) 清風の会派人数は、議員辞職にともない、平成29年3月から3人となりました。

用語解説

- 調査研究費：市の事務、地方行政等に関する調査研究および調査委託に関する経費
- 研修費：会派が研修会を開催する経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- 事務所費：会派が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

※政務活動費は、市政について住民に報告するために要する経費、住民からの市政および会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費等にも充てることができます。

民生教育常任委員会 活動方針

改選により新旧議員の委員会構成が決定し、各種調査活動を早期に行う。

この4年間市民生活基盤の安定・充実が急務であり被災地域の復旧・復興に伴う移転事業の完成はもとより、時代の変化による少子高齢化、子育て事業、地域創生が重要である。改選前の常任委員会の継続調査項目及び提案内容と課題等について確認し、移転後の生活環境整備と福祉事業、教育環境整備等のさらなる充実を求め、次の事項について、調査する。

●福祉関連事業

- ① 東松島市健康21計画（第2次）
- ② 東松島市高齢者福祉計画、第6期介護保険事業計画
- ③ 東松島市第4期障害・福祉計画
- ④ 東松島市国民健康保険、保険事業実施計画（データヘルス計画）
- ⑤ 被災者支援活動と取り組み
- ⑥ 子育て支援事業の取り組み
- ⑦ 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

●教育委員会

- ① 東松島市復興教育振興基本計画の実施状況



▲既に福祉関連事業ヒアリングを実施

- ② 教育施設の整備状況
- ③ 児童・生徒の推移、学区、地域
- ④ 学力向上施策と地域の特性
- ⑤ いじめ対策の現状と不登校対策
- ⑥ コミュニティスクールの進捗と課題等
- ⑦ 森の学校プロジェクトの整備状況
- ⑧ 総合型地域スポーツクラブの取組の現状

広報常任委員会 活動方針

新委員7名にて広報活動をスタートします。

議会は、二元代表制における意思決定機関として、市民に開かれた議会活動を行い、市民の福祉向上および市政の発展に寄与する。公平かつ適正な議論を尽くして地方自治の実現に取り組み。

議会活動の原則は開かれた議会を目指し、市民の視点を活かしながら、政策提言、政策立案の強化に努め、市民の傍聴意欲が高まるように行う。また、議会広報の充実には市民との情報共有を図り、議員自ら問題意識を持ち市民が関心を持てるように、広報・広聴活動に努める。



▲議会懇談会に多くのご参加をいただいています

●本年度の活動方針

- ① 議会報モニターの導入について
- ② 議会だよりは、市民に読みやすい紙面構成で
- ③ 議会懇談会は各種団体との懇談会にも着手
- ④ タブレット・映像配信・ウェブサイトの活用



▲よりよい議会だより作成のため、委員間で議論

議会運営および活動状況 平成29年2月9日以降

2月14日	議会運営委員会	全国市議会議長会基地協議会 正副会長・監事・相談役町村事務局長会
15日	総務常任委員会	14日 大曲まちづくり協議会平成29年度定期総会
17日	民生教育常任委員会	15日 宮戸地区復興再生多目的施設落成式
	財務常任委員会	17日 東松島市自主防災組織連絡協議会平成29年度通常総会
18日	松島基地懇話会及び懇親会	24日 平成29年度特定非営利活動法人東松島市体育協会並びに東松島市スポーツ少年団通常総会
22日	産業建設常任委員会	25日 松島自然の家野外活動フィールド完成記念式典
	財務常任委員会	26日 平成29年度矢本西コミュニティ協議会総会
23日	産業建設常任委員会	30日 平成29年度小野地区まちづくり協議会総会
24日	議会運営委員会	5月1日 総務常任委員会
25日	鳴瀬川河口部復旧・復興事業完成式 平成28年度NPO法人東松島市体育協会・東松島市スポーツ少年団スポーツ合同表彰式	民生教育常任委員会
26日	岩井きよ子チャリティ民謡の集い	産業建設常任委員会
27日	市民フォーラム及びデンマーク視察団懇親会	財務常任委員会
28日	総務常任委員会	広報常任委員会
	財務常任委員会	議会運営委員会
3月3日	民生教育常任委員会	議員全員協議会
	議員全員説明会	議員全員説明会
5日	第5回小野市民笑顔ふれあいまつり えんずのわり座談会 芸術文化振興会チアーズトリオコンサート	8日 平成29年度東松島市商工会青年部通常部員総会 議会運営委員会
7日	平成28年度第10回東松島市生涯学習推進大会	9日 平成29年度東松島市文化協会総会及び研修会 平成29年度東松島市観光物産協会通常総会
10日	東北方面音楽隊定期演奏会 チャレンジデー東松島市実行委員会総会 市内中学校卒業式	10日 広報常任委員会 議会運営委員会
11日	平成29年度東日本大震災東松島市慰霊祭	14日 第16回協会会長杯争奪家庭バレーボール大会
13日	平成29年度大塩婦人会総会	15日 全国市議会議長会基地協議会(帯広市) 宮城県議会文教警察委員会視察来市
15日	議会運営委員会	2017年「原水爆禁止国民平和大行進」への御賛助のお願い 全国市議会議長会基地協議会 正副会長・監事・相談役会会議
16日	矢本はなぶさ幼稚園卒園式	16日 全国市議会議長会基地協議会 正副会長・監事・相談役会視察
17日	市内小学校卒業式	18日 広報常任委員会
18日	矢本中央幼稚園卒園式 宮野森小学校卒業式 貞山運河「桜」植樹会	議員全員協議会 議員全員説明会
19日	野蒜保育所内覧会	宮城県議会地域防災調査特別委員会視察来市
21日	産業建設常任委員会 広報常任委員会 会派代表者会議	19日 航空自衛隊 松基園の会
22日	ミネラルウォーター新工場落成式 鳴瀬幼稚園卒園式 多機能型共同生活援助事業そぎな新築落成式	20日 市内小学校運動会
23日	東松島市地域産業物産加工研究会	23日 客船「ばしふいくびいなす」入港歓迎式典 平成29年度江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会総会
25日	小野保育所修了式及び閉所式 平成28年度小野上地区センター解散総会並びに小野上地区自治会設立総会	24日 橋復興大臣来市 ファーマライズホールディングス(株)来市 民生教育常任委員会 議会運営委員会
26日	平成29年度野蒜まちづくり協議会定期総会 ひだまりの里福幸祭 小野地区定期総会	宮城県シニアソフトボール連盟・東松島市ソフトボール協会 第13回北日本古希ソフトボール親善交流(宮城・東松島)大会
30日	宮戸地区復興再生多目的施設内覧会	24~25日 全国市議会議長会第93回定期総会、市議会議員共済会第114回代議員会
4月3日	年度始めの式	25日 東松島市商工会平成29年度(第13回)通常総代会
4日	平成29年度転入教職員服務宣誓式 平成29年度東松島市交通安全防犯推進協議会総会 平成29年春の交通安全運動推進会議	26日 富士市議会市民クラブ視察来庁 27日 東松島市工務協同組合平成29年度通常総会 29日 東松島市芸術文化振興会平成29年度通常総会 宮城県議会総務企画委員会視察来庁
5日	牛網保育所入所式	30日 登米市正副議長(局長)就任あいさつに伴う来市
6日	平成29年春の交通安全運動に伴う出動式	31日 シルバー人材センター平成29年度定時総会
10日	仙台市議会議長来市 市内小・中学校入学式 鳴瀬幼稚園入園式 平成29年春の交通安全運動に伴う街頭指導	6月1日 仙台市議会へ表敬訪問 宮城港湾復興大会
11日	市内小・中学校入学式 平成29年度東松島市婦人会連絡協議会総会	2日 三陸縦貫自動車道・アクセス道路建設促進期成同盟会会計監査
12日	矢本東小学校入学式 矢本中央幼稚園入園式	広報常任委員会 議会運営委員会 東松島市青少年健全育成市民会議総会
13日	矢本はなぶさ幼稚園入園式 全国市議会議長会基地協議会(東京都) 東北市議会議長会 平成29年度赤井地区自治協議会総会 東松島市民生委員児童委員協議会総会	3日 矢本東小学校学芸会 「ショッピングプラザ森の風」開所式
		4日 矢本地区フラワーロード植栽
		5日 総務常任委員会 宮城県議会大震災復興調査特別委員会視察来庁
		6日 正副議長の挨拶回り(石巻市他)

他議会からの視察来庁

5月18日	宮城県議会地域防災調査特別委員会	10名
	「防災拠点の整備の現状と課題について」	
5月26日	静岡県富士市議会市民クラブ	1名
	「東日本大震災からの復興状況について」	

5月29日	宮城県議会総務企画委員会	8名
	「東日本大震災復興の状況と今後の課題等について」	
6月5日	宮城県議会大震災復興調査特別委員会	13名
	「東日本大震災復興等進捗状況と課題等について」	
6月15日	札幌市議会自由民主党議員会	4名
	「東松島市復興まちづくり計画について」	

編集後記

本市は12年ぶりの市長選挙と議会議員ダブル選挙で新人5人が議会に入りました。29年度がスタートいたしました。

改めまして議会の二元代表制についてですが住民が直接選挙で首長と議員を別々に選ぶ制度。首相を議員から選ぶ議員内閣制の国政とは異なり首長は予算や条例の議案を議会に出したり人事を決めたりする権限を持ち、議会は議案の議決などで首長の行政運営を監視する役目を担います。

新人の議員さんにも粉砕骨身を重ねていただきます。早く18名全員で、市民の負託に答えながら、より良いまちづくりに一丸となり取り組みます。

(小野 幸男)

議員	小野 幸男
委員長	古川 泰広
副委員長	上田 勉
委員	手代木 せつ子
委員	大橋 博之
委員	櫻井 政文
委員	熊谷 昌崇